

おうしゅう 市議会だより



No. 55

12月定例会

定例会後
年4回発行

発行日／令和2年1月23日
発行／奥州市議会



主な内容

新年のごあいさつ	2
一般質問	4
政策提言第3弾	
6次産業の活性化を探る	12
みんなで考える、奥州市の将来	14



あけまして おめでとうございます

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、清々しく希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

早稲田大学マニフェスト研究所が毎年調査している「議会改革度調査2018ランキング」が昨年6月に発表され、奥州市議会は前年度から大きくランクを上げ、全国1447地方議会のうち68位と、初めて上位100位以内入りを果たしました。開かれた議会を目指し、議会改革に積極的に取り組んできたことが高く評価されたものと考えております。

また、昨年から各常任委員会が市当局に対して政策提言を始めました。「市民と議員の懇談会」等の実施により市民の皆様の声を吸い上げ、適時適切な政策提言を行っていきたいと考えております。

今後とも、議員が一丸となり、『ワンチーム』として奥州市の市勢の発展に尽くしてまいります。今年一年が皆様にとりまして幸多い年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

議長 小野寺隆夫



12月

定例会のあらまし

12月定例会は、市長から条例の一部改正6件、条例の廃止2件、議決を求めるもの20件、令和元年度補正予算16件、計44議案が提出され、全議案を可決しました。

案議 審議



奥州市部設置条例の一部改正

子育て関連施策を総合的に推進する「健康こども部」を新たに設置すること、相談窓口の一元化による市民の利便性の向上及び業務の効率化を図る等の組織再編を行うもの。

(施行期日 令和2年4月1日)

農業集落排水施設条例及び 同事業分担金条例の一部改正

農業集落排水施設の統廃合を推進するにあたり、使用料及び受益者分担金

の徴収等に関する制度を公共下水道事業の制度に準じて改め、公共下水道に接続する地区と接続しない地区との受益者間の公平性を確保するためのもの。

(施行期日 令和2年4月1日)

16施設の指定管理者の指定に関する議決

常盤地区センター他8地区センター、越路スキー場他6施設の指定管理者を指定するもの。

(指定開始日 令和2年4月1日)

胆沢堆肥化施設条例の廃止

老朽化及び損傷の著しい胆沢堆肥化施設は、他の施設においてその機能を果たすことができることになったため、廃止するもの。

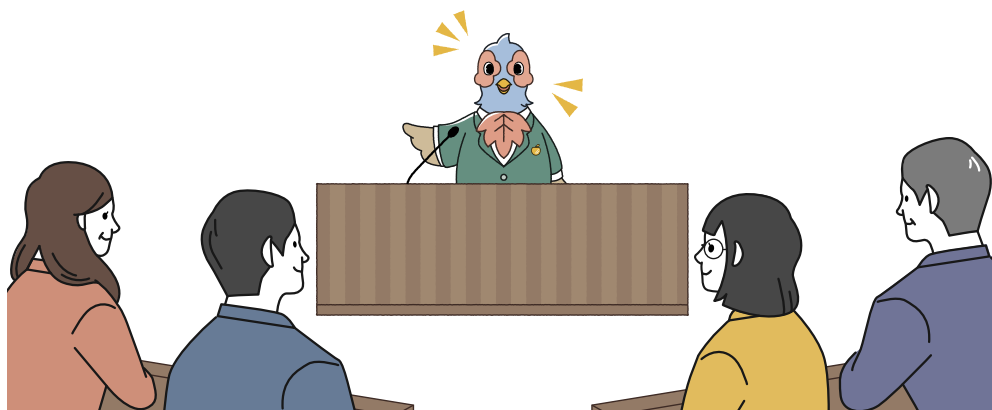
(施行期日 令和2年4月1日)

令和元年度一般会計補正予算 (第8号)

自立支援給付等事業経費(1億5890万円)、児童扶養手当経費(1億1533万円)等で歳入歳出それぞれ2億6986万円を追加し、補正後の予算総額629億6452万円とするもの。

奥州市水沢駅東駐車場条例の 廃止

社会経済情勢の変化等により利用台数が減少し、機器の老朽化の著しい水沢駅東駐車場について、民間事業者に貸し付け、駐車場の運営及び維持管理を行わせることにより、効果的かつ効率的な運用を図るため、本件条例を廃止するもの。



ここが
聞きたい!

一般質問

一般質問とは？

議員が市の仕事全般について、市長などに報告を求めたり、将来の方針等について質問することをいいます。

今定例会の一般質問は、20人の議員が登壇しました。質問、答弁の要旨を掲載します。
(文責は質問議員)

質問議員

阿部加代子(公明党).....4P	千葉 敦(日本共産党).....6P	今野 裕文(日本共産党).....9P
廣野 富男(奥州みらい).....4P	和彦(奥和会).....7P	佐藤 郁夫(無会派).....9P
小野寺 満(奥和会).....5P	優(新奥会).....7P	高橋 政一(奥州みらい).....9P
及川 善男(日本共産党).....5P	秀俊(奥和会).....7P	及川 春樹(新奥会).....10P
瀬川 貞清(日本共産党).....5P	明(日本共産党).....8P	千葉 康弘(奥州みらい).....10P
藤田 慶則(奥和会).....6P	圭子(奥州みらい).....8P	及川 佐(奥州みらい).....10P
飯坂 一也(公明党).....6P	晋(新奥会).....8P	

予防接種で子どもと高齢者の健康を



あべ かよこ
阿部 加代子 議員
公明党



【質問】 高齢者肺炎球菌ワクチンは、接種制度が延長された。公費で接種できるのは生涯一度だけであるため、65歳の方にコール・リコール（再勧奨）を行い、接種率の向上を目指すべきでは。

【市長】 対象者に対し、令和2年1月に再通知を行い、接種勧奨を進めていく。

【質問】 子宮頸がんワクチンは、A類定期接種である。接種権利がある年代に周知しない事は、市の不作為が問われかねないが、周知方法を伺う。

【市長】 ホームページで、厚労省のリーフをより検索しやすいよう改善する。個別周知は、近隣市町の動向を注視していく。

【質問】 ロタウイルスワクチンが令和2年10月から定期接種となり、8月生まれの子どもから適応となるが、4月〜7月生まれの同学年で公費接種が受けられない。市で補助すべきではないか。

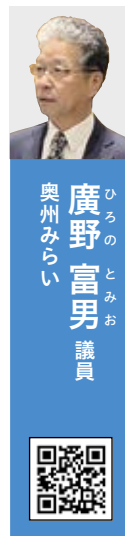
【市長】 同学年で差がなくなるよう検討する。

「遺族のために書類作成等の支援充実を

【質問】 家族が死亡すると、様々な手続きが必要である。「遺族支援コーナー」を設置し、窓口案内、書類作成補助を行い、支援すべきでは。

【市長】 「負担の軽減について協議していく。

新工業団地面積を拡大すべき



ひろの とみお
廣野 富男 議員
奥州みらい



【質問】 整備面積が小さすぎるが根拠は。

【市長】 江刺岩谷堂「袖山地区」を最有力候補地と選定した。用地取得費を除く事業費約13億8千万円を見込み、自動車や半導体など先端産業集積エリアとし、安定的な雇用確保を目指す工業団地にしたい。調査設計や造成工事に5年ほど要し、10年以内の完売を目指したい。本市の財政状況等を勘案し、用地面積を10haとしたが、面積拡大が可能なら検討したい。

市単独の交通量調査を

【質問】 整備要望上、独自の交通量調査を。

【市長】 国道456号は国道4号線の補完道路で重要道路と認識している。歩道、橋りょうの整備を含め、引き続き国・県に要望する。指摘の交通量調査は実施する。



有力候補地に選定された袖山地区

用語解説 ※1 肺炎球菌

主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて感染し、気管支炎や肺炎などの重い合併症を引き起こすことがある。肺炎は日本において死亡原因の第5位となっており、成人の肺炎の2〜3割は肺炎球菌が原因と考えられている。

一般質問



誰もが適切な福祉支援が受けられる奥州市に

市長 地域共生社会の実現に向けた「地域包括支援システム」強化のため計画の一部を見直し、「市民後見人等の育成や活動支援と権利擁護への取組み」など3項目を新たに盛り込んだ。

質問 地域包括支援センター、来年4月からの新体制の準備状況は万全か。

市長 市民の皆様がより安心して相談できるセンター体制を構築するため、受託候補7法人に対する事業運営及び事務手続き等の説明を行う。

また、利用者、関係機関・団体及び市民に対して、新たな体制について、説明会を開催する。

地域福祉計画の中間見直しは



おのでら みちる
小野寺 満 議員
奥和会



耐震に問題 新病院建設計画を早急に



おいかわ よしお
及川 善男 議員
日本共産党



質問 厚労省は、再編や統合を検討すべき医療施設の実名を公表した。水沢病院・まごころ病院なども含まれており、今後の医師招へいに大きな影響を及ぼし、病院の存立にもかかわる。本件について、市長並びに病院事業管理者の対応は。

市長 今回の公表に対し、県市長会や地元選出国會議員に要望活動を行ってきた。

病院事業管理者 職員に動揺が広がっており、患者に不安を与えないように院長名で通知した。

質問 地域医療介護計画が、なぜ遅れているのか。また、新病院建設のスケジュールについて伺いたい。

市長 地域医療介護計画は、年度内には作成したい。新病院建設は、計画策定後に改めて検討したい。

市政運営の基本は市民の声を聞くことだ

質問 市政運営は、振興会単位の丁寧な市政懇談会を行い、市民の声を聴くことではないか。

市長 今も丁寧な市政懇談会を実施している。開催のあり方等は今後検討したい。

水沢東バイパス工事に伴う交通安全対策を



さがわ まさきよ
瀬川 貞清 議員
日本共産党



質問 水沢東バイパスは、今年度中のマイアネタウンまでの開通を目指し工事中である。バイパスの東側に住む子どもたちは、工事中のバイパス用地を横断して従来の通学路に出て登校している。地域の交通安全対策を急ぐべき。

市長 該当の道路はおおよそ80名の児童・生徒の通学路となっている。早急に教育委員会や国交省と協議しながら、通学路の見直しや安全対策を講じる。

杉ノ堂く町屋敷線のカーブミラー設置の要望については、国交省より年度内設置の回答があったが、見通しのよくないところなので、早急に設置するよう、さらに要請したい。



子ども達の安全確保を



QRコードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。



用語解説

※2 市民後見人

親族以外の一般市民による後見人で、家庭裁判所によって選任される。市民後見人は、判断能力が十分でない人の金銭管理や契約などを本人に代わって行う。



ふじた よしのり
藤田 慶則 議員
奥和会



ふるさと納税 より多くの受入額を

※3
質問 ふるさと納税の実績と、より多くの受入額を獲得するには、何が課題か。

市長 今年度は10月時点で1億6147万7千円の受入額。ふるさと納税を活用し、奥州市を全国にPRすることを目的に取組んでいる。そのため、返礼事業のみではなく、奥州市を知ってもらい、ファンになってもらう取組みが重要である。

角塚古墳の維持・管理を早急に

質問 角塚古墳北側の水路は、国道側の路肩が崩れ、土のうが積まれて、古墳も洗掘されている。早急に水路整備を実施すべき。

教育長 史跡の洗掘を防ぐため、掘削工事を伴わない工法により史跡の保護が図れないか、関係機関と検討・協議する。



角塚古墳（胆沢）の水路の早期整備を



いざか かずや
飯坂 一也 議員
公明党



民生委員を支える環境づくりを

質問 民生委員の活動についての課題と対策を伺う。

市長 地域全体で支える福祉の推進の観点から、民生委員一人に任せきりにするのではなく、地域全体で分担できる体制づくりを考えていく。

質問 補佐的な役割を担う、協力員制度などの方策も必要では。

市長 懇談会などで地域ごとの実状を把握しながら、考えていきたい。

障がい福祉の充実を

質問 基幹相談支援センターの設置に向けた取組みの状況は。

市長 令和2年度中を目途に、設置に向けた検討をしている。相談支援の中核的な役割を担うことになる。

質問 重度障がい者の親亡き後の支援を具体化すべきと考えるが。

市長 地域にある機関の連携体制を図ることに対応していきたい。地域自立支援協議会の場で協議をしていきたい。



民生委員制度100年のシンボルマーク



ちば あつし
千葉敦 議員
日本共産党



子どもの権利に関する推進計画の策定は

質問 奥州市子どもの権利に関する条例に定める、奥州市子どもの権利に関する推進計画期間は、平成31年3月31日までであった。新しい推進計画の策定は。

市長 計画策定のために子どもの権利推進委員会の委員を中高生3名を含む15名に委嘱し、委員会を7月から3度開催した。1月には4回目を開催し、年度内に計画書策定の予定である。

幼児教育・保育の完全な無償化を

質問 10月から保育料は無償になったが、給食費が実費徴収となった。市独自支援策により負担増の世帯はないとのことだが、完全な無償化で子育て支援をすべきでは。

市長 副食費を全て無償化すると、事業費が大きくなり、その実施は難しい。



中学生用啓発パンフレット

用語解説 ※3 ふるさと納税

ふるさとに貢献したいという思いを寄附金という形で表す制度。

平成30年度の寄附額は417,804,089円で、矢巾町、北上市に次いで県内第3位の実績。寄附金は市のまちづくり施策に役立てているほか、寄附に対する返礼品という形で奥州市の特産品PRにもつながっている。なお、今年度は7億円に迫る寄附が集まっている。



ドローンを活用した農業散布
(イメージ図)

新規就農者支援の充実を

質問 国の「農業次世代人材投資資金事業」の予算が突然大幅に減額された。今後、市ではどのように新規就農者支援を充実していくのか。

市長 市としては、「農業次世代人材投資資金事業」の交付要件を満たす対象者全てに満額交付となるよう国に対し要望を行っていく。また独自の支援策を引き続き行っていく。



ちば かずひこ
千葉和彦 議員
奥和会



スマート農業普及支援対策は

質問 スマート農業の普及が今後重要になると考えるが、市はどのように普及拡大に取り組むのか。

市長 市としては、国・県の動向を注視しつつ農業者へ情報提供し、今後の支援のあり方について検討を始める。



おの ゆたか
小野優 議員
新奥会



期日前移動投票所と高校での投票導入を

質問 高齢者など投票困難者に対して、投票率向上のために、より投票しやすい環境作りとして、移動投票所を導入してはどうか。

市長 既に具体的な検討に入っている。先進地も視察してきており、想定される課題の解決策を検討中である。次の市長・市議会議員選挙では実施したい。

質問 主権者教育の一環として、市内高校でも期日前投票をすべきである。

市長 奥州市の選挙の場合、卒業式の時期との兼ね合いが最大の課題だが、まだ時間があるため、実現の方向で調整・協議していきたい。

LGBTへの理解促進を

質問 盛岡市では、レズビアンであることを公表している女性が、市議会議員に当選した。奥州市でも同性パートナーシップ制度の導入を検討するなど、より具体的な施策を実施することが、LGBT（性的少数者）への支援や、より一層の理解促進につながると考えるが。

市長 正しい知識の普及と市民意識の啓発・醸成が大事と考える。当事者には、県の相談体制への紹介など適切に対応していきたい。



なかにし ひでとし
中西秀俊 議員
奥和会



未来に負の遺産を残さないためには

質問 今後40年間の公共施設の姿を描く中で、施設の老朽化や統廃合などが課題となっているが、「夢や希望が持てるまちづくり」が大切では。

市長 市民との対話を通じ、実効性のある計画を作りたい。

梁川バイパスの整備計画に地域要望を

質問 バイパスの整備に併せて公衆衛生や生活環境の安全上、駐車帯とトイレの設置は必須では。また、梁川運動場の旧江刺高校校舎の撤去を期待するが。

市長 駐車帯設置等について、必要性や設置位置について検討し要望する。校舎撤去は地元振興会と協議する。道の駅を整備する場合、費用対効果の分析、官民の役割分担、運営主体のあり方などの検討が必要である。



梁川バイパス予定地（梁川館下地内東側）



QRコードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。



用語解説

※ 4 LGBT

レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーそれぞれの英語の頭文字から取った、性的少数者の総称。日本でのLGBTの割合は約8%（12人に1人）と言われている。



すがわら あきら
菅原 明 議員
日本共産党



高齢者等の買い物支援策を

質問 高齢者等世帯が増加する一方で、地元商店街が衰退しており、高齢者は日常生活用品の購入への危機感を抱いている。市は地域や様々な関係者と連携、協力しながら課題解決に向けて取り組むべきだ。

市長 移動手段を持たない高齢者の買い物支援へのニーズが高まっていると認識している。社会福祉協議会や民生児童委員等と連携し、地域の実情を把握し、地域との相談や協議を行いながら、買い物支援の推進や協力体制の強化、充実を図っていく。

「んめえがすと」の屋根改修を

質問 農家レストランの屋根の雨漏りにより、営業存続への危機感が出てきている。屋根の改修の見通しは。



農家レストラン「んめえがすと」(衣川)

営業存続への危機感が出てきている。屋根の改修の見通しは。

市長 建物と調和の取れる色調のトタン材で修繕することを検討している。



すがわら けいこ
菅原 圭子 議員
奥州みらい



防災対策の改善を

質問 10月に発生した大型台風により、多くの市民が避難することとなったが、避難所への食料や寝具の配布に遅れがあった。物資対応については以前も指摘をしたが、改善されていないが。

市長 避難者数が想定していた数を大きく上回り、結果として遅れが出てしまった。今後改善するよう努める。

質問 避難準備のアナウンスの際に「身の回りの物や食糧等の持参の呼びかけ」をしたことは良かった。

市長 市職員4名を1班とする避難所運営班を編成し、事前に研修や地域振興会との打ち合わせを行ったことで周知や避難所の円滑な運営ができた。

防災訓練のあり方は

質問 今年度の参加状況について伺う。

市長 9月1日に総合防災訓練が実施され、15地区振興会と28行政区・自主防災組織が参加した。

防災意識の高まりから、参加者は増加傾向にある。訓練内容を見直しながら、参加者が増えるように検討していきたい。



たかはし すずむし
高橋 晋 議員
新奥会



市民に不利にならない市の財産活用を

質問 経済的価値のある資産は、早期に売却や譲渡を進めるべき。また、普通財産の明細の開示と市民から有効活用の提案を受け付けては。

市長 宅地などへの活用が見込める物件をホームページで公開した。引き続き、公開物件の拡大と、周知の工夫に取り組んでいきたい。

イオン江刺店跡地は、資産価値が少しでも高いうちに利活用が進むよう、有効な活用策を前にきに検討していく。

質問 駐車場の有料化やパークPFI^{※5}導入などによる歳入の増収策の検討を進めるべき。

市長 水沢駅東駐車場用地の有効利用について、民間事業者での運営を検討する。パークPFIは、飲食店や売店など公園利用者の利便の



新たな活用策が待たれるイオン江刺店跡地

向上に資する施設の設置とその施設から得る利益で、財政負担軽減と賑わいの創出に寄与するよう、事業化の可能性について検討していく。

用語解説 ※5 パーク PFI

公園利用者の利便向上につながる飲食店や売店などの設置と、その収益を活用して、公園施設の整備や改修などを一体的に行う事業者を公募により選定する制度。

一般質問

温泉は㈱ひめかゆに運営させるべき



こんの ひろふみ
今野 裕文 議員
日本共産党



質問 地域住民の皆さんの本意は、指定管理での営業継続を求めていると思う。しかし、それができないのであれば、㈱ひめかゆを民間企業として自立させ、営業を引き続き担わせてほしいと考えている方が多いと考える。ひめかゆ温泉を譲渡するための公募は中止し、㈱ひめかゆに無償譲渡すべきと考えるが、いかがか。

また、新たな出資者を募り、民間企業として㈱ひめかゆが引き続き営業できるよう、営業継続できるよう、2年程度の指定管理契約の延長を含めた環境整備をするべきと考えるが、その考えはないか。

市長 ひめかゆの民間移譲の目的は、ひめかゆ温泉を長く継続運営してもらうことにある。地域住民の要望やひめかゆ温泉の現状を考えると、令和2年4月1日以降も継続して経営されることが必要であり、混乱のないように良き答えを見出したい。

また、新たな経営体制を構築し経営を担っていただくため、㈱ひめかゆが努力しようとする分については、しっかりお手伝いしていかねければならないと考える。

会計年度任用職員をフルタイムに



さとう いくお
佐藤 郁夫 議員
無党派



質問 ※6 会計年度任用職員制度により、勤務時間が週38時間45分から30時間に短縮され、保育施設において10時間の空白時間が生じる。その対応は。

市長 空白時間は時間外勤務として対応。また、職員団体からは週38時間45分勤務の申し入れがあり、労使協議の上、適切に対処する。

現道舗装を早期に

質問 数年にわたり一路線も整備されない地域があるほか、現道舗装の要望も数多くある。市道路整備計画とは別枠で予算化し対応を。

市長 市道路整備計画に対する国の交付金は要望よりも少ない状況である。現道舗装の別枠予算化は市の財政状況では難しい。

交付金の確保やコスト削減を図り、道路整備計画実現に努力する。



早期の現道舗装を

市の財政と来年度の予算編成はどうか



たかはし まさいち
高橋 政一 議員
奥州みらい



質問 平成30年度の財政調整基金の取崩しは5億3千万円で済んだが、令和元年度はどうなるか。来年度の予算編成の方針と長期財政計画の見直しを問う。

市長 令和元年度は財政調整基金を約21億円取崩し、12月補正前の残高見込みは約65億円となっている。この規模で取崩しが続くと基金が枯渇することから、歳出の抑制が急務となる。来年度の予算は、経常経費を前年度比4・5%減とし、政策経費も圧縮するため枠配分方式にする。長期財政計画の見直しは来年度予算策定後となる。

スマートフォンでの情報発信はどうか

質問 会派で視察した宇和島市では、ポータルアプリを使った「伊達なうわじま安心ナビ」を導入し、防災、観光、健康、子育ての情報を発信していた。市でも導入を検討すべきでは。

市長 幅広い世代に情報を伝達するためには、可能な限り多くのメディアを活用することが必要。スマートフォンの活用も含めて、効果的な情報発信のあり方を検討していく。



用語解説

※6 会計年度任用職員制度

現在の非常勤職員や臨時的任用職員を、フルタイムの職員と短時間勤務の職員に移行すること。これまでの報酬に加え、期末手当（ボーナス）も支払われるようになる。フルタイムの職員は昇給も可能となる。



QRコードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。



おいかわ はるき
及川 春樹 議員
新奥会



水沢江刺駅周辺の環境整備を

質問 昭和60年3月に請願駅として開業した水沢江刺駅であるが奥州市の玄関口としての重要な役割を担っているにも関わらず、駅周辺環境整備が不十分ではないかとの声も出てきている。財政難のなか整備を促進するためには財源確保のため無料開放している市営駐車場の有料化について検討する時期に来ているのではないか。

市長 財源確保の観点から効果的と考えるが関係機関との協議を行い、課題を整理し都市計画マスタープランとの整合性を検証していく。

質問 南岩手交流プラザの有効活用について検討されているか。

市長 活用については展示方法等の課題があるとの認識をしている。

質問 住民活動として江刺梁川出身のシンガーソングライター大瀧詠一^{※7}氏の曲を発車メモディーにとPR、署名活動を展開しているが、どのように受け止めて検討しているか。

市長 応援していくが、「市民に広く親しまれている。」「聞くと奥州市が連想される。」「という点で下地づくりが必要である。

(他に将来のための人材育成について質問)



ちば やすひろ
千葉 康弘 議員
奥州みらい



農業集落排水の使用料値上げは緩やかに

質問 農業集落排水の使用料は、2年間で約30%値上げになる。ある地区では、使用料に加え特別使用料1590円を支払っている。生活に密接に関わるものに、急激な値上げがあつていいものか。農村部の生活が困窮するので、値上げは時間をかけ、緩やかにすべきでないか。さらに、水沢・胆沢の一部の受益者負担金が違うが、奥州市内を統一すべきでは。

市長 下水道と農業集落排水を統廃合することで維持管理費が抑えられる。使用料の値上げは事業の安定的な運営のため理解いただきたい。水沢・胆沢の特定環境保全公共下水道地区の事業は完了しているので従前のままである。(他に建築入札不調の改善について質問)



農業集落排水施設のいま



おいかわ たけとく
及川 佐 議員
奥州みらい



医師の確保と財務の健全化を

質問 医師退職者の経営への影響は。

病院事業管理者 医師6名が退職し、純損失約3億9千万円の補正予算を提出させていただく。

質問 今後の財務の健全化は。

病院事業管理者 二病院とも地域包括ケア病床等の導入をしており、今後策定する地域医療介護計画の役割を踏まえ健全化を進める。

質問 医師確保の状況は。

病院事業管理者 昨年度当初から6名減となっている。現在までに奨学金養成医師4名と面談、早期の義務履行を要請した。また招請医師も交渉中である。

指針見直し、利用実態と職員の声を

質問 協働のまちづくり指針の見直しでは利用実態と方向性を明らかにするべきでは。

市長 資料を整理し指針の見直しを行う。

質問 地区センター施設は利用者が多ければ職員は忙しくなるが、管理料に反映されず、意欲減退になるのでは。

市長 今後慎重に見直しを行う。

用語解説 ※7 大瀧詠一

昭和23年生まれ、江刺梁川出身のミュージシャン。バンド「はっぴいえんど」で活動後、ソロとして「ロングバケーション」が大ヒット。平成に入るとドラマの主題歌に「幸せな結末」を提供し、ミリオンセラーとなる。平成25年没。

賛否の公表



採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。これ以外の議案等は全会一致で可決等されています。

議案第3号

発議案第19号

請願第8号



採決結果一覧表

(賛成=○、反対=×、欠=欠席)

議席	3	5	6	15	20	24	26	7	12	13	14	17	23	8	11	22	25	27	1	2	4	18	16	19	28	
氏名	千葉和彦	小野寺満	高橋浩	菅原由和	中西秀俊	藤田慶則	渡辺忠	千葉康弘	廣野富男	及川佐	菅原圭子	高橋政一	小野寺重	瀬川貞清	千葉敦	菅原明	今野裕文	及川善男	小野優	及川春樹	高橋晋	加藤清	飯坂一也	阿部加代子	佐藤郁夫	
会派	奥和会							奥州みらい						日本共産党					新奥会				公明党		無党派	賛成・反対
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	○	19:5
発議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	23:2
請願第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	23:2

※議長は採決には加わりません。

議案番号	案件名
議案第3号	奥州市農業集落排水施設条例及び奥州市農業集落排水事業分担金条例の一部改正について
発議案第19号	地域の実態を考慮した公立・公的病院のあり方と地域医療の充実等を求める意見書
請願第8号	私学教育を充実・発展させるための請願

総務常任委員会 所管事務調査報告

奥州市公共交通施策について

総務常任委員会では、6月定例会にて、「公共交通施策に関する政策提言書」を当局に提出しました。その後の経過を調査するため、元気戦略室から「奥州市第3次バス交通計画」の進捗状況について説明を受けました。

この計画は、基本方針・基本目標・施策の方向性を定める「基本計画」のほかに「実施計画」を盛り込むとのこと。路線見直しによる地域の交通ネットワークの状況、現行バス路線の今後の方向性などについても示す予定であるとの説明がなされました。

また、政策提言書の内容を反映させた形で計画策定が進められており、都市拠点と地域拠点を結ぶ交通手段の確保、地域の実態に即した効率的な地区内交通の構築などにより、今まで以上に利用しやすく、永続的に維持できる交通環境の整備をしていきたいとのことでした。

奥州市公共施設等 総合管理計画について

人口減少及び少子高齢化により、今後、公共施設の維持管理がさらに難しい状況になり多額の費用が必要となります。施設の老朽化、類似施設の重複など多くの課題を抱えており、その負担は市の財政に大きな影響を与えることが想定されております。

市は平成29年3月に「奥州市公共施設等総合管理計画」を策定し、現在、個別施設の統廃合や複合化を進めながら、維持管理コストの縮減につなげていくための個別施設計画を策定しているとのこと。

地域住民にとって地域から公共施設がなくなることは、利便性の低下だけでなく、地域活性化の大きな不安となり得るため、丁寧な住民説明や意見交換を重ねて理解を得たうえで総合的な調整を図られることを期待します。

効率的なまちづくりをはじめ、市民の利便性やサービスの低下を極力招かないためにも、都市計画や公共交通計画とも連携した計画づくりをしていくことが重要です。



継続性確保のための 農業振興ビジョン策定の 義務化



農業振興ビジョンの見直しルールや掲載項目を明らかにすることで、継続性の高い農業振興の推進が期待されることから、具体的施策として3項目を提言しました。

- (1) 農業振興に関する指針の策定を義務付ける条例（仮称「指針策定条例」）を新たに制定すること
- (2) 条例に次の事項を盛り込むこと
 - ア 毎年度評価し、必要な見直しをすること
 - イ 指針策定に当たっての基本原則を列挙すること
 - ウ 課題解決するための方針、施策の体系・目標、施策推進の体制と主体毎の役割など指針に掲載する事項を列挙すること
 - エ 指針を策定し、または見直した時は、公表すること
- (3) 農業振興の基本理念や各主体の役割等を定めた「農業振興基本条例」の制定を目指し、所要の検討を行うこと

加工

加工費・送料への支援や気軽に利用できる加工場があればいいね。

連携

ホテルやレストランへの橋渡しや異業種との交流会を開催してほしい。

政策提言への意見・要望

市民と議員の懇談会より

こえ



6次産業の 活性化を探る



農業を取り巻く環境が一層厳しくなっている昨今、いかに農業の所得を確保し、若者や子ども達が地域に定住できる社会にするために、地域資源を活用した新たな産業を創出する農業振興及び6次産業の推進は重要な施策と捉え、所管する産業経済常任委員会が先進地視察や農業関係者との話し合いを重ね、昨年の12月定例会最終日に市長に提言書を手渡しました。

この政策が一日も早く実現され、本市の農業振興が一層推進されることを期待するものです。



地域6次産業化 推進のための 支援環境の整備



支援環境の充実を図り、やる気のある人を掘り起こすとともに、グループ化やネットワーク化を支援し、ビジネス化の機会をつくるよう、次の項目を提言しました。

- (1) 事業化資金の補助制度の拡充
- (2) 食品加工場等の整備など、
気軽に挑戦できる環境の整備
- (3) 売上げの向上、流通の安定化、販路の拡大などの支援
- (4) 気軽に相談できる総合的な相談窓口の設置
- (5) グループ化やネットワーク化を推進する場、
機会の創設
- (6) 加工業者や小売業と連携できるコーディネーターの設置



地域6次産業化に 向けた実効性のある 推進計画の策定



地域6次産業化の施策を総合的かつ計画的に推進し、市産農畜産物の付加価値を高め、農業所得の向上を目指す、実効性のある新たな推進プランの策定を提言しました。

推進プランの策定にあたっては、農業者や生産団体等の意見を計画に反映し、次の事項の掲載を求めました。

ア 本市の地域6次産業化の目指すべき方向性

イ その方向性に沿った基本方針、体系ごとの施策とその目標値

ウ 各種施策の実施スケジュール

各提言について詳しくは、
奥州市議会ホームページをご覧ください。



宣伝

PRや販売促進、消費者の情報を収集できる場や少量の商品でも販売できるような市独自のアンテナショップの設置を。

活用

今ある加工施設の活用も必要。市内外の既存施設のリスト化が必要。

規制

農地転用や保健所の申請などハードルが高いので是非規制緩和を。

サポート

必要書類や出店するまでの手順など、わかりやすいマニュアルがあると助かるし、利益につながるよう、最後までサポートする体制があればな～

体験

外向けの販路拡大には設備や流通経費などお金がかかるので、県内外から人を呼び込み、農業体験や加工体験が出来る施設があるといいね。定期的なイベントがあると人が集まりそう。

いっしょに
考えてみよう!

市民と議員の懇談会

みんなで考える、 奥州市の将来

どうする? どうなる?

・教育厚生・

障がいのある人もない人も 暮らしやすい奥州市をつくろう

パート
2

「障がいのある人もない人も暮らしやすい奥州市をつくろう パート2」をテーマに、障がい者や障がい者団体関係者、一般参加者合わせて29人が参加し、6つのテーブルに分かれて意見交換を行いました。

懇談会開催の約2週間前には台風19号が襲来し、高齢者等避難準備情報の発令があったため、当日は、避難時のことや防災行政に関する発言が多くを占めました。さらに、障がい者に対するきめ細やかな施策や支援の要望が出されました。



・総務・

将来の公共施設の あり方を考える

総務常任委員会は「将来の公共施設のあり方を考える」をテーマに、参加者23名が6つのテーブルに分かれて意見を交換しました。



統廃合を進めるべきという意見と、経費の見直しや利用者を増やす等の工夫により施設を存続させるべきとの両極端の意見が飛び交う形となりましたが、全員が「10年、20年と先を見据え、安定した奥州市であってほしい」という同じ思いを抱いていました。

手話通訳者の配置を

耳に障がいのある私たちには、日常生活において、不自由に感じることがあります。

駅や電車内でのアナウンスや自動販売機、料金精算機などの音声対応では、私たちは理解が難しいです。病院や医院では、受付で「聞こえないので手で合図して下さい」と伝えても、受付と看護師から声を張り上げて呼ばれるなど、困ることがあります。

市役所（福祉関係）、医療機関、金融機関、大型店などには、手話通訳者を置いてほしいです。



きくち こ
菊地 エミ子さん

市民の声をこれからも大切に

会議資料には40年後の市の実態とありましたが、もっと短い期間（10年～15年位のスパン）で考えても良いのではないのでしょうか。飛ぶ自動車やAIロボットなど近未来的に進化していくと思われる変化も踏まえて、公共施設のあり方も考える必要があるという意見も出て、色々な視点での検討も大切だと思いました。未来を考えた施設のあり方が今後重要になってきます。私たちの住む奥州市がより住みやすく、住み続けたい豊かなまちとなるよう、市民の声を大切にしてほしいと願います。



きくち さちこ
菊地 祥子さん



ワールドカフェ形式で 活発な意見交換



市議会では、議会情報の発信や、市民の皆さんとさまざまな意見交換をすることを目的に、市民と議員の懇談会を毎年開催しています。ことしは11月5日から20日にかけて、水沢地区センターや市役所を会場に、4つの常任委員会ごとにテーマを設けて実施。皆さんの考えを伺うことで、政策提言に反映させたり、テーマをさらに絞った所管事務調査を実施したりと、市議会にとって有意義な取組みとなっています。

これらの声が市の政策に反映され、市民の生活向上につながるように、市議会として活動を継続してまいります。

・ 建設環境 ・

ゴミの減量化とリサイクルの 取り組みについて

環境団体や業者、一般の方々など、11名の参加者が4つのテーブルに分かれ、「ゴミの減量化とリサイクルの取り組みについて」意見交換を行いました。いただいた沢山の御意見の中にいくつかの共通事項がありました。それは「①家庭で幼少期からのゴミ教育が大切。②分別判断の基準となる情報が少ない。③リサイクル製品・商品の見える化や紹介も必要ではないか」ということでした。



意見交換できる機会の拡大を

問題が数多くあるなかで、担当課との一対一での問題解決は、やりにくい時代です。複数の担当の方と意見交換する場が必要と感じています。今回は業者の方や地域の方ともお話ができて、勉強になりました。未来に繋がる子どもたちへの思いも感じられ、多様な環境の方と知り合う場が出来て良かったと思います。このような機会をさらに広げていく必要があると感じました。話し合ったことが実際に市民に伝わり、市政運営にも反映されていくことを心より願っています。

わこう かずえ
若生 和江さん



・ 産業経済 ・

6次産業化推進のための 支援のあり方など

農業関係団体や産直出荷者、6次産業化の実践者の方々など21名の参加者が6つのテーブルに分かれ、それぞれ6次産業化推進のための支援のあり方などについて、日頃から思っていることを意見交換しました。課題としては、「人手不足」「情報の不足」「規制緩和が必要」等が出されました。



地域活性化の最短ルートにも

多様な職種の人たちと意見交換をすることで、6次産業化のアイデアや実現への課題などが見えてきました。さらに踏み込んだ話し合いをしようというところで時間切れに。この集まりは、議員さんとも直接お話できるので、地域活性化に向けて行政へ協力を求めることや、政策反映への最短ルートにもなると思います。私も含め、協働のまちづくりアカデミー修了生など、地域づくりに取り組む市民は数多くいるので、その人たちとの意見交換会もぜひ開催してほしいですね。地域づくりへの意識がより高まると思います。

おざわ まさなお
小澤 正直さん



奥州市に明るい未来を。

私は水沢で鮎屋を営んでおりますが、奥州市の景気はなかなか厳しいと肌で感じる毎日です。加えて、耳にする市の話題と言えば、少子高齢化や人口減少、厳しい財政状況など、将来に不安を覚えることばかりです。市街地の活性化が奥州市全体の活性化に繋がると思います。

若い世代が将来に希望を抱き、奥州市の未来がもっと明るくなるような政策、取組みを切に願います。



ささき しんいち
佐々木 新一さん(胆沢)

わたしも
ひとこと

大好き

おうしゅう



地域活性化を願う。

地域活性化は、誰しものが願っていることです。衣川を拠点として活動しているNPO法人天遊塾は、馬を活用して歴史探訪する事業を中尊寺と連携して行っており、今年で2年目になります。この事業には他県から参加者も多く、好評をいただいております。

一つの事をきっかけとして花が開き、地域の活性化に繋がってほしいと心から願っています。

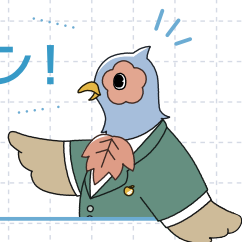


まつよし こ
松芳 トミ子さん(衣川)

・気になる話題を解説・

定例会でハッケーン!

指定管理者制度って何?



地区センターや体育館など、公の施設の管理・運営を、株式会社・財団・NPO・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度として平成15年に施行。民間事業者等有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図ることなどを目的としています。



表紙紹介

真っ白な北上山地を前へ、前へと力強く進むキジ。それを照らすりんごのように真っ赤な初日の出が市議会だよりの新たな門出を祝います。

あとがき

市議会だよりが新年より生まれ変わりました。狙いは読みやすさと手に取ってもらえることです。市民と議会をつなぐお便りとして、身近でわかりやすい誌面作り心がけます。みなさま、ご期待ください。

(千葉 康弘)

議会広報
委員会

〔委員長〕 廣野 富男

〔副委員長〕 飯坂 一也

〔委員〕 千葉 和彦

高橋 晋

小野寺 満

高橋 浩

千葉 康弘

千葉 敦

菅原 圭子

定例会インターネット中継が
ご家庭でもご覧になれます。

奥州市ホームページ

奥州市議会

検索



奥州市議会公式
Facebook

<https://www.facebook.com/oshu.gikai/>



奥州市議会公式
Twitter

https://twitter.com/oshu_gikai



次の定例会は2月14日(金)の予定です。



おうしゅう
市議会
だより

No.55

令和2年1月23日

発行／奥州市議会(岩手県奥州市水沢大手町一丁目1番地)
電話／0197-34-1575(直) 編集／議会広報委員会
印刷／川口印刷工業株式会社

